

# 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 コペルプラス 青物横丁教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			法令を遵守したスペースになっております。
	② 職員の配置数は適切である	4			法令を遵守し配置基準の人数を確保しております。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		子どもにわかりやすい表示物を製作し提示しています。	子どもにわかりやすく、明るい雰囲気的环境を心がけています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃、消毒、換気をし、感染予防及び心地よい空間を保っております。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		定期的にカンファレンスやミーティングを行い業務改善に努めております。	全員が必ず参加する機会を設けています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			すぐに実施できる改善すべき点は職員間で話し合い改善につなげています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			事業所ホームページに公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				第三者評価は未実施です。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			内部研修が主になっているが、今後は外部研修の参加も積極的に参加したいと思います。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		保護者様との面談や職員とのミーティングにて個人の分析を行い支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			アセスメントツールを使用し実施しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		支援計画はガイドラインに沿い、保護者様のニーズや子どもの発達に合わせ作成しています。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		個別支援計画を職員それぞれ内容をしっかり把握し支援しております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		職員間での話し合いの場を多く取るようにしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		日々の教材以外の個別支援教材を取り入れ、レッスンで行った内容を記入し、色々な教材に触れる機会を増やす工夫をしています。	今後も、プログラムの見直しなど職員で話し合い固定化しすぎることがないように努力していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	4		子どもの状況に応じた計画になるよう職員で話し合いをしています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		必ず打ち合わせを行っています。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		対応が難しかった点など振り返り発言する時間を取っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日支援後に記録をとっています。	記録を参照しながら支援の検証をし、児発管が中心になり改善への話し合いを持っています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		目標達成や支援内容について職員で見直しを含めた話し合いをしています。	6ヶ月以内で定期的に行っております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達管理責任者が主に参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		必要時は連携を取らせていただきます。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象児なし
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象児なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		要望に応じ保育士の見学を実施することもございます。	通所保育園などからの見学希望には快く応じ情報共有の場を提供しています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	必要に応じ対応しています。	就学支援シートの記入提出に協力しています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		現在実施しておりません。
--	---	---	--	---	--	--------------

保護者への説明責任等	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		今後積極的に参加していきたいと思います。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		フィードバックの際や面談等で保護者様との話し合いの場を設け、お子様の情報を共有させていただいています。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	1		現在ペアレントトレーニングは実施できておりませんが、常に保護者の方が相談しやすい環境を整えております。
	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明を行っています。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		ガイドラインに沿った支援計画を作成しています。作成後は保護者にご説明し、同意のサインを頂いております。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談内容は職員間で情報共有し対応を助言させていただいております。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		現在、保護者会等を実施できておりません。今後、要望がございましたら検討していきます。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		職員間で早急に対応を検討する話	出来る限り迅速にかつ適切に保護者様が安心できるように対応していきます。

					し合いをしております。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		ブログや掲示板を使い発信しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵付きの書庫や、パソコンデータはパスワードの設定をして管理しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		絵を使用した表示物やカードで支援しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		定期的に訓練を実施しております。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に訓練を実施しております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時に確認し職員間で情報共有しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		アレルギーがある児童の情報共有をしています。	食事の提供がないため、医師の指示書はいただいております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		該当する事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で再発防止に向け、検討し意識づけをしています。	全職員で事例を検討しています。今後も引き続き、細かい事も大きな事故に繋がらないよう曖昧にせず共有していきます。

	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		マニュアルを策定し、職員に周知しております。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		契約時に説明をし、ご了承をいただいております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。